

しまねエコライフサポーターズ つうしん

Vol. 3
2025
Oct.

令和7年度第1回 島根県地球温暖化防止活動推進員研修 7月28日 於：くにびきメッセ501大会議室

私たちが日々関わる食品の生産から廃棄に至るライフサイクルの環境負荷と、ごみの焼却による温室効果ガスの現状を学び、減量化が脱炭素社会の形成に深く関わること、また地域で減量化を推進する効果的な取り組みを学ぶ研修会を開催しました。

講演

講師：阪口 良則氏
(島根県環境生活部参事)



島根県内の一般廃棄物処理の現況や生ごみ関係の法令、食品ロスと温暖化、そしてしまねらしいCE社会の実現という目標に向けて、推進員の役割の重要性なども講演いただきました。

CE:サーキュラーエコノミー(循環経済)

「家庭の生ごみと推進員活動」
～人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる、
しまねらしいCE社会の実現に向けて

参加者の感想

- ★ごみに多くの税金が使われていることを知り、地域の方にごみの減量を推進することも推進員の役割だと思った。
- ★国の施策に基づいて、自分たちが推進していく活動になっていることがよく分かった。
- ★これまで何度も試したごみ減量法は失敗！キエーロはぜひ試してみたい。
- ★生ごみをお湯にくぐらせると分解が早いとのことなので、早速試したいと思った。

実践者に インタビュー

講師：上瀧口 琴代氏
(しまね環境アドバイザー)



「生ごみ減量の救世主 キエーロ」

ごみの減量を日々の生活で実践されている上瀧口講師に
キエーロコンポストの体験談をお聞きしました。

■ごみ減量の取り組みを始めた理由は

20年以上前に、温暖化防止のために家庭からのCO2の排出を抑制したいと思いました。

■取り組みを続けるコツはどんなこと

とにかく無理をせず、楽しみながらやることです。

■キエーロコンポストでのごみ減量のメリットは

ゴミ出しの回数が減り、2ヶ月に1度になりました。これまで色々なコンポストを試しましたが、臭いやミズアブが発生することが無く、また油や水分も投入できます。

■地域でキエーロを広めようと思った理由は

今まで試したコンポストの中で一番使い勝手が良く、これなら自信を持って普及できると思いました。



サポーターズの活動紹介



出雲地区サポーターズ



【8/22 中国電力(株) 三隅発電所見学】

三隅発電所は、石炭と木質バイオマスを燃料とする発電所で、1号機2号機の出力がそれぞれ100万kWの国内では最大級です。高効率な超々臨海圧発電方式の採用で、燃料を抑えながらより多くの電力を生み出し、発電効率が大幅に向上することでCO2の排出の削減につながっています。また、後に残る石炭灰の98%は有効に活用され、環境負荷を最小限に抑える技術を進めています。



なるほど。
発電の仕組み
が分かった！



火力発電は、燃料を燃やして高温・高圧の蒸気を発生させ、その蒸気力でタービンを回転させ、タービンに直結した発電機を動かして電気を作る仕組みです。発生した蒸気を海水などで冷却して水に戻し、再びボイラーで蒸気にする再利用を繰り返しています。参加者は「火力発電は環境に良くないと思っていたが、発電の仕組みがわかった。廃棄物は再利用され、環境に配慮されていることも分かって良かった。」などの感想がありました。



松江地区サポーターズ



【まつえ環境フェスティバルへの参加】

9/4 第1回協議

9月28日に開催されるまつえ環境フェスティバルに松江地区推進員の出展が決まり、出展内容を協議するために推進員さんが集まりました。正しいごみの分別と資源の再利用を知ってもらうために、ごみの分別が正しくできるか、楽しみながら学べるよう「ごみ分別チャレンジ！」と題して挑戦してもらうことになりました。次回協議には色んなごみを持ち寄ります。



ごみの分別
で迷うこと
があります
ね。

9/18 第2回協議



「これって何ごみ？」正しいつもりで分別していたのに、改めて確認作業をすると実は間違えていたり・・・判断に迷うものなど、たくさんの家庭ごみを持ち寄りました。



松江環境フェスティバル当日は、市民の皆さんに色々な種類のごみを市の指定通りに分別できるのか、チャレンジしてもらいます。さて、全問正解できるかな？

